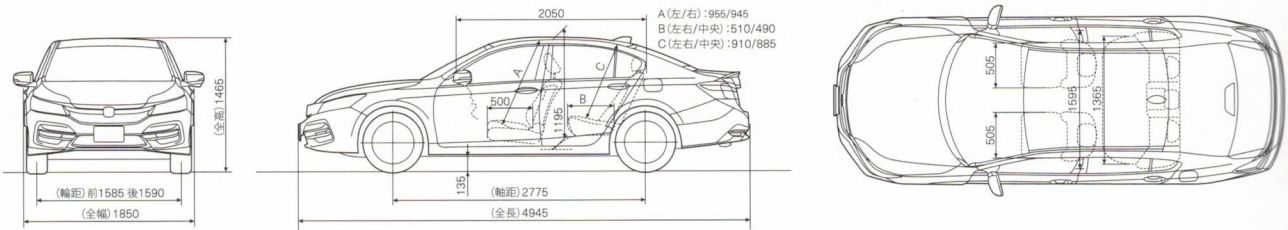


主要諸元

タイプ		HYBRID LX	HYBRID EX
駆動方式		FF	
車名・型式		ホンダ・DAA-CR7☆	
寸法・重量・乗車定員	全長(m)/全幅(m)/全高(m)	4,945/1,850/1,465	
	ホイールベース(m)	2,775	
	トレッド(m) 前/後	1,585/1,585	1,585/1,590
	最低地上高(m)	0.135	
	車両重量(kg)	1,580	1,600
	サンルーフ装着車(kg)	—	1,610
	乗車定員(名)	5	
原動機	客室内寸法(m) 長さ/幅/高さ		2,050/1,595/1,195(サンルーフ装着車1,145)
	原動機型式	LFA-H4	
	エンジン型式	LFA	
	エンジン種類・シリンダー数 及び 配置	水冷直列4気筒横置	
	弁機構	DOHC チェーン駆動 吸気2 排気2	
	総排気量(L)	1.993	
	内径×行程(mm)	81.0×96.7	
	圧縮比	13.0	
	燃料供給装置形式	電子制御燃料噴射式(ホンダPGM-FI)	
	使用燃料種類/燃料タンク容量(L)	無鉛レギュラーガソリン/60	
	電動機(モーター)	電動機型式	
		H4	
		電動機種類/定格電圧(V)	
		交流同期電動機/700	
性能	エンジン	最高出力(kW[PS]/rpm)	107[145]/6,200
		最大トルク(N・m[kgf・m]/rpm)	175[17.8]/4,000
	電動機(モーター)	最高出力(kW[PS]/rpm)	135[184]/5,000 - 6,000
		最大トルク(N・m[kgf・m]/rpm)	315[32.1]/0 - 2,000
	燃料消費率(km/L)	JC08→ 走行(国土交通省審査値)	31.6 30.0
	主要燃費向上対策	ハイブリッドシステム、アトキンソンサイクル、アイドリングストップ装置、可変バルブタイミング、電動パワーステアリング	
	最小回転半径(m)	5.7	5.9
動力用主電池		種類/個数	リチウムイオン電池/72
動力伝達・走行装置		減速比	第一:2.454(電動機駆動) 0.805(内燃機関駆動) 第二:3.421
		ステアリング装置形式	ラック・ピニオン式(電動パワーステアリング仕様)
		タイヤ 前・後	225/50R17 94V 235/45R18 94W
		主ブレーキの種類・形式 前/後	油圧式ベンチレーテッドディスク/油圧式ディスク
		サスペンション方式 前/後	マクファーソン式/ダブルウィッシュボーン式
		スタビライザー形式 前・後	トーション・バー式

■燃料消費率は定められた試験条件での値です。お客様の使用環境(気象、渋滞等)や運転方法(急発進、エアコン使用等)に応じて燃料消費率は異なります。☆印の車両は、自動車取得税、自動車重量税、自動車税の軽減措置が受けられます。(取得税は2017年3月31日まで、重量税は2017年4月30日までの新車登録が対象。自動車税は2017年3月31日までの新車登録が対象となり、新車登録の翌年度に軽減措置が受けられます。)詳しくは販売会社へお問い合わせください。■主要諸元は道路運送車両法による型式指定申請書数値。■ACCORD、アレルフリー、エコアシスト、G-CON、Honda SENSING、INTER NAVI SYSTEM、LKAS、PGM-FI、SPORT HYBRID i-MMD、VSA、VTECは本田技研工業株式会社の商標です。■Bluetooth®は米国Bluetooth SIG, Inc.の登録商標です。■HDMI®、HDMI®ロゴおよびHigh-Definition Multimedia Interfaceは、米国およびその他の国々におけるHDMI Licensing, LLCの商標または登録商標です。■Apple CarPlay™、iOS、iPhone®は米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標または登録商標です。■VICSは(財)道路交通情報通信システムセンターの登録商標です。■プラスマクラスターマークおよびプラスマクラスター、Plasmaclusterはシャープ株式会社の商標です。■ヘルプネット®は株式会社日本緊急通報サービスの登録商標です。■製造事業者:本田技研工業株式会社

寸法イメージ図 単位:mm HYBRID EX メーカーオプション非装着車



環境仕様

「平成32年度燃費基準+20%達成車」 「平成17年排出ガス基準75%低減レベル」認定車

基礎情報	車両型式	DAA-CR7		適合騒音規制レベル	平成10年騒音規制 規制値:加速走行76dB(A)	
	原動機	型式	LFA-H4	エアコン冷媒	種類/GWP値*2	HFC-134a/1430*3
環境性能情報		総排気量(L)	1.993		使用量	430g
	駆動装置	駆動方式	FF	車室内VOC	自工会目標達成(厚生労働省室内濃度指針値以下)	
	燃料消費率	JC08→ 燃費(km/L)*1	31.6 30.0	環境負荷物質削減	鉛	自工会2006年目標達成(1996年使用量**の1/10)
		CO <sub>2</sub> 排出量(g/km) <燃費からの換算値>	73.5 77.4		水銀	自工会目標達成(2005年1月以降使用禁止*5)
		参考	平成32年度燃費基準+20%達成車		六価クロム	自工会目標達成(2008年1月以降使用禁止)
	排出ガス	適合規制・認定レベル	平成17年排出ガス基準75%低減		カドミウム	自工会目標達成(2007年1月以降使用禁止)
		JC08H+JC08C	1.15	リサイクル	樹脂、ゴム部品への材料表示	樹脂、ゴム部品に可能な限り全て
		モード認定基準値	0.013		リサイクルし易い材料**を 使用した部品	バンパーフェースなどの内外装部品
		(単位:g/km)	0.013		再生材を使用している部品	エアコンダクト
		参考	九都県市指定低公害車の 基準に適合		リサイクル可能率	車全体で95%以上*7
				その他	グリーン購入法適合状況	グリーン購入法適合車

\*1 燃料消費率は定められた試験条件での値です。お客様の使用環境(気象、渋滞等)や運転方法(急発進、エアコン使用等)に応じて燃料消費率は異なります。\*2 GWP:Global Warming Potential(地球温暖化係数)  
\*3 フロン法において、カーエアコン冷媒は、2023年度までにGWP150以下(対象の乗用車における国内向け年間出荷台数の加重平均値)にすることを求められております。\*4 1996年乗用車の業界平均使用量は1850g(バッテリーを除く)。\*5 交通安全上必須な部品の極微量使用を除外。\*6 ポリプロピレン、ポリエチレンなどの熱可塑性プラスチック。\*7 「新車種のリサイクル可能率の定義と算出方法のガイドライン(1998年 自工会)」に基づき算出。※この環境仕様書は2016年5月現在のものです。